

皆さま、あけましておめでとうございます。

2023年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、国税労組の運動を職場と地域で力強くお支えいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和3年もコロナ禍で組合活動が制約されましたが、2022年人事院勧告が、月例給及び一時金ともに3年ぶりの引上げとなったことは、明るい話題であったと思います。

しかし、予算、機構・定員に関しては、政府の財政事情から、依然として厳しい状況が続いています。

また、消費税不正還付の対応、インボイス制度の導入、業務のデジタル化や内部事務センター化への対応、複雑・困難化している調査・徴収事務にかかる事務量の増加など、私たちを取り巻く環境は日々変わり続け、人員不足を含め、様々な課題が山積しています。

今年も変わらぬ歩みとしまして、

私たち国税労組は、山積する多くの課題に対して、組織を拡大・強化し、強固な組織力で解決を図っていきます。

私たち国税労組は、仲間とともに、様々な課題の解決に取り組んでまいります。

私たち国税労組は、先輩たちが、現在に繋いでくれた職場環境と処遇を未来に繋いでいきます。

組合活動の源は支部の皆さまの声であり、その声が単組、国税労組の取り組みに繋がりを、課題の解決に結びつきます。

様々な課題を解決するため、これからも現場の皆さまの生の声をお聞かせいただきますようお願いいたします。

結びに、本年も組合員の皆さまの一層のご支援をお願い申し上げますとともに、組合

員の皆さまをはじめご家族が幸多き年となりますことを祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 元旦

中央執行委員長 佐久田 武人